



しおかぜ

令和3年度
豊橋市立大崎小学校
学校だより
令和4年2月2日
第10号

アンケート集計結果から来年度に向けて

保護者の皆様、学校生活アンケートにご協力くださりありがとうございました。学校教育活動を円滑に進めるにあたり、課題改善は最も重要です。このアンケートを通して、保護者の皆様の貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に当たっていきたいと思います。保護者と児童のアンケートについては、別紙に設問の内容と結果のグラフを掲載しましたので、ご覧ください。

今年から、本校のホームページからアクセスして回答していただく形に変更したことで、戸惑われたかたもみえたようです。申し訳ありませんでした。回答方法については、誰でも簡単にできるように改善を加えていきたいと思っています。

保護者・児童ともに評価が高かった設問・・・1, 7, 20, 21 ※（ ）は児童アンケート

- 1 先生は、子どもに学習の基礎基本を定着させるためにきめ細やかな指導をしていますか(大切なところをわかるまで教えてくれますか)
- 7 先生は、～友達と仲良くすることやルールを守ることの大切さを(ルールややってもよいこと・悪いことをしっかりと)教えていますか
- 20 先生は、子どもたちに対して明るくこやかに接していますか(あなたは、先生とお話したり一緒に活動したりするのが楽しいですか)
- 21 先生は、授業を楽しめる雰囲気づくりやわかりやすい指導を(授業をわかりやすくするためにいろいろと)工夫していますか

保護者において非常に評価が高かった設問・・・17, 18

- 17 学校は、教育活動やESDの取り組み、子どもの様子を学校新聞、学校だより、学年通信、HP等でよくわかるように伝えていますか
- 18 学校は、保護者や地域の人の力を生かした教育を行っていますか

高評価の設問についての考察

- 設問1:算数では、今年度もTT(チームティーチング)や少人数指導により、一人一人の学びの状況や特性に合わせた授業を展開しています。また、一人1台タブレットが配付されたことにより、多くの教科で学習のふり返りやドリル学習を一人一人が自分で選んで進められるような環境も整いました。今後は、学んだことを生かす場である体験活動等と関連させ、より深く考えることのできる子どもを育成していきたいと考えています。
- 設問7:道徳の時間だけでなく、日々の指導の中で、集団生活におけるルールや物事の善悪について繰り返し指導しています。子どもたちは、ルールを守ることでだれもが気持ちよく生活できることを実感しており、規律正しく学校生活を送っています。
- 設問20, 21:子どもたちが毎日楽しく学校生活を過ごすためには、教職員一人一人がいきいきと働ける学校にしていく必要があると考えています。そこで、教職員が気軽に相談し合える職場の雰囲気づくりに努めてきました。また、授業力向上のための研修も積極的に行い、お互いの授業を見合う場も設定しました。このように教職員がともに学び、切磋琢磨することが、笑顔の絶えない学級・学校づくりや楽しい授業づくりにつながっています。
- 設問17:保護者や大崎校区の皆様は大崎小学校での活動の様子を知っていただくことが地域とつながる第一歩だと考え、広報活動に力を入れています。HPについては、タイムリーに学校の情報を伝えることができるため、行事や特別なことがあった時には、できるだけ早く内容を更新するようにしています。また、学校だよりを月1回発行し、その月の学校行事、各学年の校外学習の様子、翌月の予定などをお知らせしています。
- 設問18:令和元年度から3年間、ESD(持続可能な開発のための教育)の研究を進める中で、生活科、総合的な学習を中心に多くの場面で地域のかたがたにご協力いただきました。そのおかげで、子どもたちは以前より大崎校区のよさを実感し、地域への愛着を高めています。来年度以降もESDを継続していきますので、引き続きご協力をお願いします。

保護者・児童ともに評価が低かった設問・・・2, 12, 24 ※（ ）は児童アンケート

- 2 お子さんは、自分が疑問に思ったことについて、すすんで解決しようとしていますか(目標をもってすすんで学習に取り組んでいますか)
- 12 お子さんは、あいさつがよくできますか
- 24 お子さんは、地域社会や周りの人に役立つとする態度が身についていますか(地域の人たちと一緒に活動し学習を進めることが好きですか)

児童において特に評価が低かった設問・・・9, 13, 17, 18, 19

- 9 あなたは、早寝早起きや食事など、健康に気をつけて生活していますか
- 13 あなたは、困ったことがあったとき、相談できる先生がいますか
- 17 あなたは、学校から出されるいろいろなおたよりを、家の人に見せていますか
- 18 あなたは、学校にいろいろな先生が来て教えてくれる授業が好きですか
- 19 あなたは、学校であった楽しかったことを家で話しますか

低評価の設問についての考察

設問2:地域や社会のさまざまな問題に目を向け、自らの力で解決していくような学習を旨とし、ESDの研究を進めてきました。研究以前に比べると、主体的に対象に関わろうとする子どもたちの姿がみられるようになりましたが、まだ子どもの自己評価、保護者の評価は高くはありません。子ども自身が地域や社会のために動きだす経験を積み重ねていくことで、子ども自身が問題解決力の高まりを自覚できるようになると考えます。

設問12:学校内では、高学年を中心に自分から挨拶できる子は確実に増えてきています。しかし、地域のかたに自分から挨拶できなかったり、声が小さくなってしまったりする子がいます。お家のかたや校区の皆様からも、子どもたちへ声をかけていただくと、恥ずかしがらずに挨拶できるようになると思われますので、よろしくをお願いします。

設問24:他の設問よりは評価が低いものの、地域の人たちとともに活動することが好きな子どもが8割ほどおり、割合は増加しています。今後も地域のかたがたに関わりをもった学習を継続していく予定です。

設問9, 17, 19:この三つの設問内容については、おうちのかたの協力が必要です。9の「早寝・早起き・朝ごはん」は、学校保健委員会で取り上げてきており、年3回の生活チェックでも意識させてきていますが、なかなか定着しません。学校と家庭が連携して取り組めるよう、さらに改善を加えていきたいと思えます。

設問13:子どもたちが悩みをもったとき、気軽に話せる教職員がいることは、心の安定につながります。この設問で、4分の1近くの子が、「相談できる先生がいない」と答えており、深刻な問題であると受け止めます。いじめや不登校の未然防止、早期発見のためにも、相談体制の見直しを図る必要があると考えます。

設問18:教員以外のかた(ゲストティーチャー)による授業を楽しみにしている子が8割に満たないのは、学校側の問題だと捉えています。子どもが問題意識をもって専門のかたの話や地域のかたの意見を聞きたいという気持ちで授業に臨めるように授業改善をしていきます。

保護者アンケート ~自由記述の内容~ にお応えします



○特別活動について

【なかよし班活動】

なかよし班活動をさらに増やしてほしいというご意見をいただきました。学校としても、思いやりの心を育てることや、上の学年の子へのあこがれの気持ちを抱くことなど、子どもたちの心の成長に必要な活動だと考えています。そこで、月一回のなかよし班遊びのほかに、昨年度からは、なかよし班530や集会の中でなかよし班対抗のゲームを行いました。来年度に向けて、他になかよし班でできる活動はないかを検討していきたいと思えます。

○生活・安全について

【新型コロナウイルスへの対応の今後の方向性】

マスクの着用、前向き給食などの感染症対策が始まってから2年近くになります。この状態がいつまで続くのか不安を感じているかたや、今学校が行っている感染症対策には科学的根拠がないのではないかと疑問を感じているかたがみえるのは承知しています。学校としても、1日も早く以前のような学校生活に戻していきたいという願いをもっています。しかし、一方で、集団生活する学校は安全ではないと考え、感染症対策が十分でなければ登校を控えるという考えのご家庭もあるようです。どの子も安心して登校できるようにするには、現在、多くの施設や店舗で行っているのと同等の感染症対策を学校でも引き続き行っていく必要があると考えています。

【自転車の乗り方(ヘルメットの着用)】

子どもたちが「自分の命は自分で守る」ことを意識して生活できるように、学級の時間だけでなく、朝会や通学団会など機会があるごとに指導をしています。特に、3年生以上になると行動範囲が広くなり、自転車移動する機会も増えるので、3・4年生を対象に自転車安全教室を開き、ヘルメットの着用の必要性についても伝えています。しかし、以前よりヘルメットをかぶらない子が増えているという声がありましたので、改めて安全指導の徹底を行ってきたいと思えます。

【通学路の安全】

大崎街道は、時間によっては交通量が多く、かなりのスピードで走る車もいるので心配だという意見がありました。学校では、子どもたちが大崎街道を通るときの安全指導をするとともに、制限速度の規制について警察へ申し出ることも検討していきたいと思えます。事故が起きてからでは手遅れですので、ご家庭でも道路を横断する際に安全確認を怠らないようにご指導ください。

○その他

【学校生活アンケートの回答方法について】

従来から保護者のかたがたにマークシートへご記入いただき、お手間をとらせてきた回答方法を大きく改善してみました。今年度が初の試みということで、若干の不具合が生じてしまいました。申し訳ありませんでした。そのほとんどがスマートフォンのセキュリティ設定によるものと推察しております。そこで次年度は、アンケート調査の折に、お子様が学校で使用しているタブレットを持ち帰り、本校ホームページからログインして回答いただくように改善します。ご家庭ではWi-fi環境の整わないかたは、個人懇談会の折に学校で回答できるように整えておきます。ICTを有効活用し、保護者の皆様に手軽に回答いただけるように対応してまいります。